

ITとファッション&ビューティへ。
ビーアイジーグループは、生まれ変わります。



BIG GROUP Co.,Ltd

<http://www.big-group.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋2-7-14 ビュレックス京橋4F TEL (03) 5524-2720 (代)

R100
古紙/パルプ配合率100%
再生紙を使用しています。

PRINTED WITH
SOY INK
地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています

シナジー効果を生む持株会社経営へ

COLLABORATION TACTICS

～第17期 事業報告書／2005年7月1日から2006年6月30日まで～



株式会社ビーアイジーグループ

1. はじめに

ITとファッション&ビューティへ ビーアイジーグループは、生まれ変わります

移動体通信事業からスタートした弊社は、今、大きな転換期を迎えています。

ビーアイジーグループ自体は、この度事業会社から純粋な持株経営会社へと生まれ変わりました。また新しい事業戦略コンセプトである“ITとファッション&ビューティ”のもと、ビジネスモデル自体も大きく変わろうとしています。

その先陣を切ったのは、2005年8月に実施した世界的有名ブランド『モッズ・ヘア』の買収です。1968年パリでスタジオワーク専門のヘア&メイク

グループとして誕生したモッズ・ヘアは、そのスタイリッシュなアート性と高い技術力から世界中の人々から愛されており、その活躍の範囲は世界的なファッション誌から春夏、秋冬のパリコレにおける有名デザイナーのファッションショーにまで、大きく広がっています。

そのブランドが私達ビーアイジーグループに加わったことにより、組織内に大きな刺激を与えると同時に従来にはなかったネットワークが生まれ、新しいM&A案件も次々と持ち込まれるようになりました。



FASHION & BEAUTY

©Tokyo Girls Collection by girlswalker.com 2006 AUTUMN/WINTER



①2006年9月3日に行われたゼイヴェル主催のイベント東京ガールズコレクション

②当日会場には女性に人気のブランドが集結し、観客動員数は2万人に達した

③事業子会社BNXがプロデュースするブランド『ジョリー・ブティック』も東京ガールズコレクションに参加した

そして今回、事業子会社BNXの女性セレクトショップ『ジョリー・ブティック』のプロデュースがスタートします。これはEコマースと大手出版社を中心とする女性メディア、そしてリアル店舗をミックスしながら、拡販していく予定です。

私達は“第二の創業期”として、事業の再構築に取り組み、より魅力的な企業集団へ変化し続けます。今後とも、何卒宜しくお願い致します。

代表取締役社長

青山 洋一



2. 事業戦略

お互いがシナジー効果を生み アメーバ組織としての活性化へ

移動体通信からITとファッション&ビューティへ、事業会社から持株会社へと変わった今、ビーアイジーグループの重要な経営テーマとして、“人材戦略”があります。

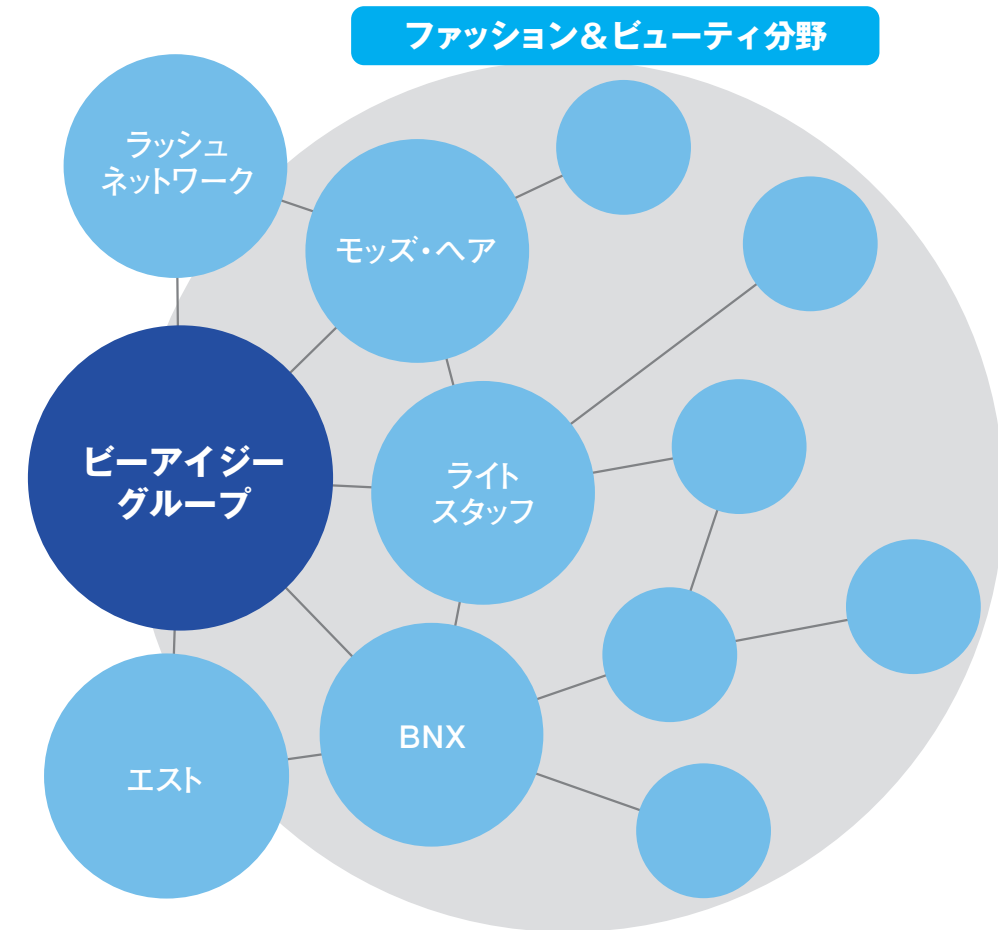
私は、ビーアイジーグループのこれからのあるべき姿として、一人一人が代表取締役のつもりでプロフェッショナルな仕事をしながら、かつチームとしても有機的に連携をとりながら成果を作り上げていく企業風土に変えていきたいと考えています。事業構造の変革にともない、求められる人材像も刻一刻と変化していくのです。

今回『ジョリー・ブティック』ブランドをプロデュースするBNXの立ち上げにあたっては、アパレル業界での実績のある人材をヘッドハンティングし、経営陣を構成しています。

それぞれの事業子会社がその分野に強い人材が運営し、お互いがシナジー効果を生む。持株会社は人材と資金調達をサポートし、事業子会社がアメーバ状にどんどん分化、発展していく。関わる人間全員が、より“ビッグ”になり、“ハッピー”になって欲しい。そのための新しい門出が、この“第二の創業期”なのです。



COLLABORATION TACTICS



3. 事業展開事例

世界的有名ブランドモッズ・ヘアの再生事例を御紹介します



2005年8月弊社がモッズ・ヘアを買収した時、直営店は全て赤字状態で、財務状況も悪化トレンドを示していました。世界的有名ブランドモッズ・ヘアは、一企業としては早急にテコ入れする必要があったのです。

その後私達は、スタッフの意識改革から不要不

動産の現金化まで次々と経営的施策を実行し、その結果全店黒字状況へ、恒常的利益体質へ大きく転換させることに成功しました。今後は収益の更なる拡大と同時に上場フェーズに向けて前進する予定です。モッズ・ヘアの再生事例は、ビーアイジーグループとしてブランド再生のノウハウを学んだ貴重な体験と言えます。

◆モッズ・ヘアブランド再生のポイント

- ・スタッフの意識改革
- ・業績連動型の報酬体系の導入
- ・不採算店の整理
- ・退職金制度の廃止
- ・不要不動産の現金化



CASE STUDY

新たに展開するセレクトショップ『ジョリー・ブティック』のプロデュースとは



ビーアイジーグループの事業子会社BNXがプロデュースするセレクトショップ『ジョリー・ブティック』は、日本最大級の女性向けモバイルサイト『ガールズウォーカー』で人気のブランドです。私達はこのブランドを確立し、早期に収益化するためには、大きく3つのポイントがあると考えています。

まずは、アパレル業界で実績のある人材の登用とリアル店舗の展開。次に、有名雑誌とのタイアップ。そしてEコマースの有効活用です。

私達の新事業コンセプト“ITとファッション&ビューティ”の試金石とも言えるのが、このジョリー・ブティックプロデュースなのです。



4. 活動報告

そして新しい歴史が始まった
9月8日(金)福岡店がついにオープン

2006年9月8日(金)、BNXが運営するセレクトショップ『ジョリー・ブティック』の一号店が、博多についにオープン致しました。

有名タレントの方から今後タイアップを組ませて頂く出版社の編集部まで幅広い方々から御支援頂き、身の引き締まる思いです。この福岡店を皮

切りに、町田、原宿と今期に8店舗をプロデュースする予定です。

ビーアイジーグループの新しい事業コンセプト“ITとファッション&ビューティ”の最先端事例として、あらゆるマーケティングを駆使し、成功させるように努めていきたいと考えています。



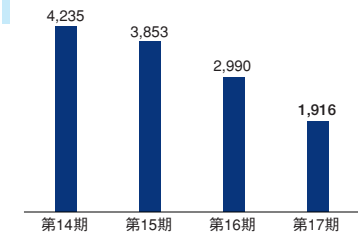
5. 当期の概況

当期におけるわが国の経済は、昨年来の公共投資が総じて減少傾向にあるものの、設備投資、鉱工業生産が引続き、高水準で推移しております。また、原油価格上昇の影響などはあるものの、雇用環境の改善を背景として個人消費も反映して拡大基調にあり、着実に景気は回復基調にあります。

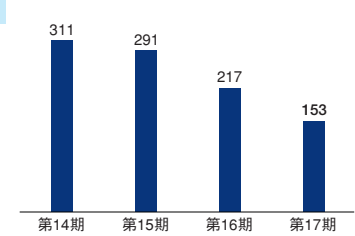
当社は、平成18年7月1日に、かねてから目標であった純粋持株会社へと移行いたしました。経営管理の一元化を通じて、グループ経営資源を有効活用し子会社全体がシナジー効果を生むように企業価値の最大化を追求しております。

■財務ハイライト(単体)

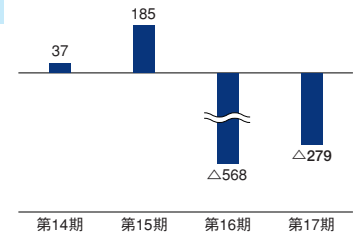
売上高(単位: 百万円)



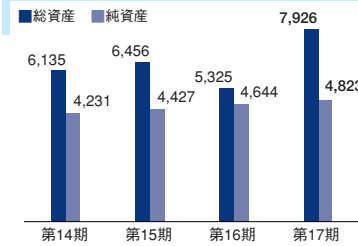
経常利益(単位: 百万円)



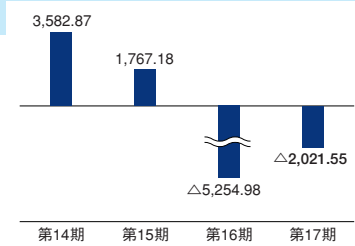
当期純利益(単位: 百万円)



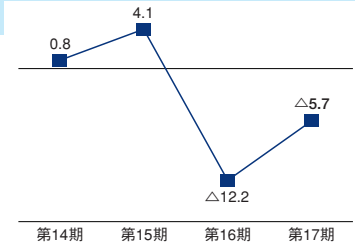
総資産／純資産(単位: 百万円)



1株当たり当期純利益(単位: 円)



自己資本当期純利益率(ROE)(単位: %)



6. 連結財務諸表

■連結貸借対照表(要旨) (単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2006/6/30現在	2005/6/30現在
資産の部	9,901,960	6,601,036
流動資産	4,713,604	3,902,772
固定資産	5,188,356	2,698,264
有形固定資産	1,368,207	1,231,992
無形固定資産	1,273,697	127,279
投資その他の資産	2,546,451	1,338,993
負債の部	5,673,633	1,960,980
流動負債	2,551,242	984,246
固定負債	3,122,390	976,733
少数株主持分	—	21,913
資本の部	—	4,618,142
資本金	—	2,195,552
資本剰余金	—	2,068,752
利益剰余金	—	241,884
其他有価証券評価差額金	—	115,105
為替換算調整勘定	—	△ 2,857
自己株式	—	△ 294
負債、少数株主持分及び資本合計	—	6,601,036
純資産の部	4,228,327	—
株主資本	4,129,699	—
資本金	2,499,447	—
資本剰余金	2,372,647	—
利益剰余金	△ 742,101	—
自己株式	△ 294	—
評価・換算差額等	29,031	—
其他有価証券評価差額金	29,031	—
少数株主持分	69,597	—
負債純資産合計	9,901,960	—

■連結損益計算書(要旨) (単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2005/7/1～2006/6/30	2004/7/1～2005/6/30
売上高	4,941,497	5,622,528
売上原価	3,569,833	4,138,742
売上総利益	1,371,663	1,483,786
販売費及び一般管理費	1,617,349	1,268,649
営業利益	—	215,136
営業損失	△245,686	—
営業外収益	186,860	47,131
営業外費用	185,795	49,225
経常利益	—	213,043
経常損失	△244,622	—
特別利益	1,851,634	440,553
特別損失	2,040,147	664,976
税金等調整前当期純損失	△433,135	11,380
法人税等調整額	499,393	498,401
少数株主損失	11,309	28,310
当期純損失	△921,218	481,470

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	2005/7/1～2006/6/30	2004/7/1～2005/6/30
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 840,811	301,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,677,901	1,731,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,626,044	△ 705,499
現金及び現金同等物に関わる換算差額	855	609
現金及び現金同等物の増減額	△ 891,811	1,328,540
現金及び現金同等物の期首残高	3,329,933	2,001,393
現金及び現金同等物の期末残高	2,438,121	3,329,933

■連結株主資本等変動計算書 (2005/7/1～2006/6/30) (単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	2,195,552	2,068,752	241,884	△294	4,505,894	115,105	△2,857	112,248	21,913	4,640,056
当期変動額										
新株の発行	303,895	303,895			607,791					607,791
剰余金の配当			△62,767		△62,767					△62,767
当期純損失			△921,218		△921,218					△921,218
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△86,074	2,857	△83,217	47,683	△35,534
当期末変動額合計	303,895	303,895	△983,985	—	△376,194	△86,074	2,857	△83,217	47,683	△411,728
当期末残高	2,499,447	2,372,647	△742,101	△294	4,129,699	29,031	—	29,031	69,597	4,228,327

■第18期の連結業績予想 (2006/7/1～2007/6/30)

	売上高(百万円)	経常利益(百万円)	当期純利益(百万円)
中間期	2,500	0	25
通 期	5,000	0	50

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 384円62銭 (注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

7. 単体財務諸表

■ 単体貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科 目	当 期 2006/6/30現在
資産の部	
流動資産	1,947,966
固定資産	5,978,680
有形固定資産	18,245
無形固定資産	10,757
投資その他の資産	5,949,676
資産合計	7,926,646
負債の部	
流動負債	1,478,289
固定負債	1,625,072
負債合計	3,103,362
純資産の部	
株主資本	4,795,169
資本金	2,499,447
資本剰余金	2,372,647
利益剰余金	△76,630
自己株式	△294
評価・換算差額等	28,114
純資産合計	4,823,284
負債及び純資産合計	7,926,646

■ 単体損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当 期 2005/7/1～2006/6/30
売上高	1,916,048
売上原価	1,490,088
売上総利益	425,959
販売費及び一般管理費	503,559
営業損失	△77,600
営業外収益	370,055
営業外費用	139,278
経常利益	153,177
特別利益	176,713
特別損失	595,720
税引前当期純損失	△265,830
法人税、住民税及び事業税	6,307
法人税等調整額	6,986
当期純損失	△279,124

■ 単体株主資本等変動計算書 (2005/7/1～2006/6/30)

(単位：千円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益 剰余金						利益剰余金 合計
前期末残高	2,195,552	1,668,752	400,000	2,068,752	15,150	621,700	△371,589	265,260	△294	4,529,269	115,105	115,105	4,644,375
当期変動額													
新株の発行	303,895	303,895		303,895						607,791			607,791
剰余金の配当							△62,767	△62,767		△62,767			△62,767
当期純損失							△279,124	△279,124		△279,124			△279,124
別途積立金取崩						△500,000	500,000	—		—			—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)											△86,991	△86,991	△86,991
当期変動額合計	303,895	303,895	—	303,895	—	△500,000	158,108	△341,891	—	265,899	△86,991	△86,991	178,908
当期末残高	2,499,447	1,972,647	400,000	2,372,647	15,150	121,700	△213,480	△76,630	△294	4,795,169	28,114	28,114	4,823,284

8. 株式の状況

■ 発行可能株式総数

400,000株

■ 発行済株式の総数

138,074株

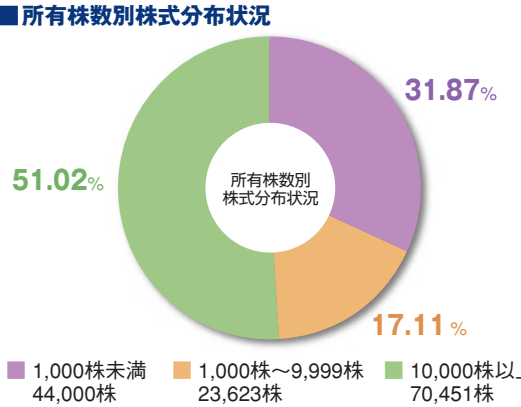
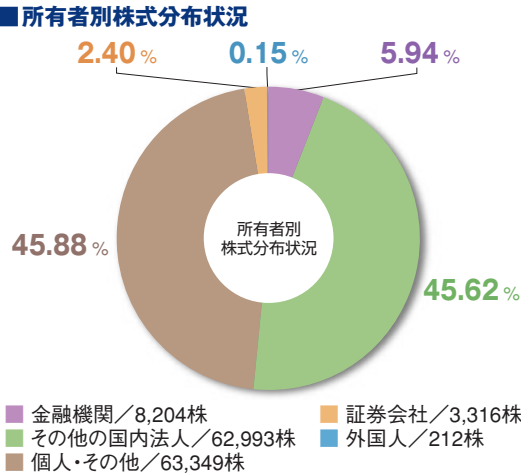
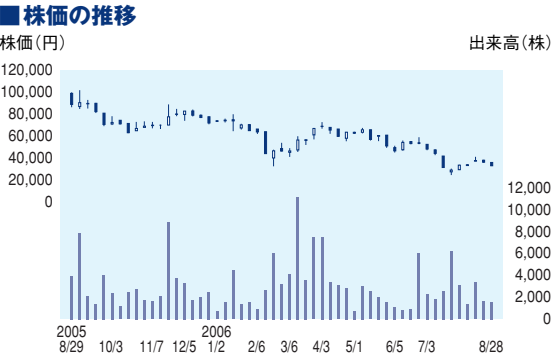
(注) 2005年9月に30株、及び2005年12月に500株の新株予約権の権利行使が行われ、また2006年3月27日開催の取締役会の決議に基づく2006年4月12日の第三者割当増資により12,000株の新株発行を行い、発行済株式の総数が12,530株増加しております。

■ 株主数

5,827名

■ 大株主(上位8名)

株主名	所有株式数(株)	出資比率(%)
有限会社山洋	36,290	26.28
青山洋一	22,161	16.05
ビーエスエル株式会社	12,000	8.69
アセット・インベスターズ株式会社	5,000	3.62
日本証券金融持株会社	2,634	1.91
株式会社山陰合同銀行	2,500	1.81
ナレッジカンパニーファンド	2,500	1.81
青山和男	2,091	1.51



9. 会社概要

会社名	株式会社 ビーアイジーグループ／BIG GROUP Co.,Ltd	役員	代表取締役社長	青山洋一
設立	1990年4月		取締役	佐藤文彦
資本金	2,499,447（千円）		取締役	勝部日出男
本社	〒104-0031東京都中央区京橋2-7-14 ビュレックス京橋4F		取締役	井谷浩二
代表電話	03-5524-2720		取締役	鍋谷勝文
従業員数	316名（2006年9月15日現在）		常勤監査役	山元哲也
事業内容	持株会社経営		監査役	生田目崇
			監査役	吉田修平
				（2006年9月28日現在）
取引銀行	山陰合同銀行／広島銀行／三井住友銀行／みずほ銀行／三菱東京UFJ銀行／三菱UFJ信託銀行			

グループ会社

	株式会社エム・エイチ・グループ (美容サロン 資本金24百万円) 事業内容：美容サロン「モッズ・ヘア」グループの持株会社。グループ運営 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-11-1 TEL 03-3470-0307		BNX株式会社 (ファッション・アパレル 資本金100百万円) 事業内容：アパレル製品の卸・販売、輸出入。アパレル製品の企画に関するコンサルティング・ライセンス事業 東京都渋谷区神宮前5-39-7 TEL 03-5464-9681
	株式会社ライトスタッフ (美容師専門転職サイト 資本金10百万円) 事業内容：美容師の紹介・派遣。サロンへの経営コンサルティング。Webマーケティング事業 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-11-1 TEL 03-3470-6385		株式会社エスト (小売・レンタル事業等 資本金29百万円) 事業内容：ビデオ、DVD等のレンタル・販売、不動産賃貸事業 島根県松江市御手船場町553-6 松江駅前エストビル TEL 0852-24-7547
	株式会社ラッシュネットワーク (携帯電話販売事業 資本金50百万円) 事業内容：移動体通信サービス事業。ボーダフォン専売店を全国12店舗展開 東京都中央区京橋2-7-14 ビュレックスビル京橋4F TEL 03-3538-6667		

10. 株主メモ

事業年度	7月1日～翌年6月30日
定時株主総会	9月下旬
同総会議決権行使株主確定日	6月30日
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取扱場所	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	電話 0120-707-696（フリーダイヤル） 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
	野村證券株式会社 全国本支店
同送付先・連絡先	電子公告により、当社ホームページ（http://www.big-group.co.jp/）に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
同取次所	
公告方法	

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施させていただくことといたしました。お手数ではございますが、右記の方法によるアンケートへのご協力をお願いいたします。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を
進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社エーツーメディアについての詳細
http://www.a2media.co.jp）

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。



http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 9439



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

.....

●アンケート実施期間は、本事業報告書がお手元に届いてから約2ヶ月間（2006年11月30日まで）です。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-5777-3900 MAIL:info@e-kabunushi.com

13

14